

鎌倉市公共施設再編計画（素案）の変更について

1章 計画の目的と位置づけ

| 項目 | 課題 | 対応方針 |
|-----------------------------|------------------------------------|---|
| 1-2 計画の位置づけ (1) 他の計画との関係 | 市全体として目指すまちづくりの将来ビジョンがわかりにくい | 総合計画における位置づけと、他の個別計画との関連を、項を分けて整理する。 第3次鎌倉市総合計画で示された将来都市像『古都としての風格を保ちながら、生きる喜びと新しい魅力を創造するまち』や、公共施設再編計画が基本構想の実現に向けた基本方針の1つに掲げる、「持続可能な都市経営」の確立の考えに基づく行政計画であることを、わかりやすい表現となるよう整理する。 |
| 1-2 計画の位置づけ (3) 計画期間 | 短期計画（12年）の期間が長いため、緊急度合いや危機感が伝わりにくい | 計画期間の内訳を短期（12年間）、中長期（28年間）としていたものを、第3次総合計画基本計画に合わせ次のように見直す。 ・短期計画：平成26年度～平成31年度（6年間） ・中期計画：平成32年度～平成37年度（6年間） ・長期計画：平成38年度～平成65年度（28年間）（変更なし） |

2章 公共施設に係る現状と課題

| 項目 | 課題 | 対応方針 |
|-------------------------------|--|--|
| 2-2 市有公共施設の状態 (4) 施設分類別の特徴 | 耐震化状況、利用状況、コスト状況等の施設情報が不足している | 公共施設白書の施設情報（時点更新）をベースに、必要な情報を抜粋し、わかりやすく示す。 |
| | 公共施設の維持管理や事業運営等にかかる現状のコストの大きさが市民の感覚として伝わりにくい | 例えば、市民1世帯あたりの負担額や利用者1人あたりの経費等、市民感覚として伝わりやすい指標を施設分類ごとに示す。 |
| 2-2 市有公共施設の状態 | 設備関連や省エネ対策等に関する言及がない | 設備面での工夫が維持管理コストの削減に繋がることに加え、社会的な要請や第3次総合計画の将来目標として位置づけを踏まえ、環境への配慮としての取組についても課題として提示する。 |

3章 公共施設の再編方針

| 項目 | 課題 | 対応方針 |
|-------------------------|---------------------------------------|--|
| 3-1 取組方針 (2) 5つの取組方針 | 計画全体として、コスト削減や総量削減などネガティブなイメージが先行している | 「新しい魅力を創造するまち」という鎌倉市本来の使命を踏まえ、複合化による利便性向上や付加価値の向上、配置の見直しや施設整備による防災面の強化など、サービスの低下を招かないよう工夫していく基本的な考え方を示す。 |

4章 公共施設の再編方法

| 項目 | 課題 | 対応方針 |
|--|---|---|
| 4-3 施設分類別の再編計画 (コスト試算) | コストデータの時点更新 | 平成25年度実績に基づく時点更新を行う。 |
| 4-3 施設分類別の再編内容 (全般) | 再編の具体的な内容がイメージしにくい | 2章で施設緒元や課題の整理を行っていることから、施設分類別の再編計画については、計画のコンセプトと計画期間で行う再編内容に特化する。 再編の考え方を簡潔に示したコンセプトや他事例の写真等、再編内容がわかりやすくなるような表現を補足する。 |
| 4-3 施設分類別の再編内容 (3) 学校施設 | 学校複合化については安全性等が懸念されている | 他自治体での成功事例等、その運営形態などの具体的な例示を加える。 |
| 4-3 施設分類別の再編内容 (3) 学校施設 (9) スポーツ施設 | 学校プールについて、集約による授業への影響が懸念されている (移動時間等) | 学校プールについては、長期的には5つに集約する案としていたが、立地及び消防水利の位置づけ、コスト削減効果を勘案し見直しを行う。 |
| 4-3 施設分類別の再編内容 (8) 図書館 | 各行政地域における図書サービスの具体的な形態が不明確でサービス低下が懸念されている | 中央図書館以外は、貸出し機能に特化する案としていたが、地域図書館と学校図書館との共同運営化など、具体的な運営形態などを示し、サービス低下を招かない工夫を検討する。 |
| (4-5 その他のコスト削減手法) | 設備関連や省エネ対策等に関する言及がない | 施設分類によらず適用可能な施設に係るコスト削減手法 (省エネ等) の追加について検討する。 |

5章 計画の推進

| 項目 | 課題 | 対応方針 |
|--------------------------------------|---------------------------|--|
| 5-2 推進体制 (2) 個別事業の実施にあたっての関係者との協議 | 個別事業の実施に係る市民参画プロセスが不明確である | 個別事業実施の際には、構想や計画の初期段階から市民等と協働で検討を行い、事業実施までの役割分担や検討の流れなどを具体的に示す |

その他（参考資料）

| 項目 | 課題 | 対応方針 |
|----------|---------------------------|---|
| 市民参画について | 計画に市民意見が十分反映されているのかわかりにくい | これまでの市民参画の取組（シンポジウム、アンケート、ワークショップ等）について、取組経緯の中で整理する |

鎌倉市公共施設再編計画策定に向けた今後のスケジュール

| | |
|-------------------|---|
| 平成 26 年 11 月 12 日 | 14:30～16:30 第 11 回鎌倉市公共施設再編計画策定委員会 ・意見公募、説明会の結果について ・公共施設再編計画（素案）の変更について |
| 平成 26 年 11 月 23 日 | 14:00～16:00 公共施設再編計画シンポジウム ・策定委員会委員長による基調講演 ・パネルディスカッション 等 |
| 平成 26 年 11 月末 | ・鎌倉市公共施設再編計画（案）への修正作業 ・庁内調整等 |
| 平成 26 年 12 月 | 議会報告 |
| 平成 26 年 12 月末 | 第 16 回鎌倉市公共施設再編計画策定庁内検討会 |
| 平成 27 年 1 月 | 第 12 回鎌倉市公共施設再編計画策定委員会（最終） ・鎌倉市公共施設再編計画（策定委員会確定版）について ・策定委員会からの提言 |
| 平成 27 年 3 月上旬 | 鎌倉市公共施設再編計画策定（行政計画） |